

平成26年度

学校関係者評価報告書

平成27年8月

学校法人日本コンピュータ学園

東北保健医療専門学校

## 平成26年度 学校関係者評価報告書

平成20年度に学校教育法施行規則が改正となり、専門学校による学校自己評価の実施が義務化されたことを受けて、学校法人日本コンピュータ学園東北保健医療専門学校では、平成24年度より教育活動実施状況を総合的かつ客観的に点検・評価し、問題点を明らかにした上で、次期の教育活動や学校運営の改善に活かし、開かれた学校づくりを進めることを目的とした「学校自己評価」を実施しています。

さらに、平成25年度からは、学校の卒業生、関係業界、学識経験者から成る「学校関係者評価委員会」を設置し、学校関係者による評価も実施しております。

平成26年度の教育活動、学校運営につきましても、学校自己評価ならびに学校関係者評価を実施致しました。学校関係者評価委員会においては、多くの貴重なご意見やご指導を頂き感謝申し上げます。

今後とも学校関係者評価を計画的、継続的に実施し、教育の質の向上、学校運営の改善強化に向けて取り組んでいく所存です。

### 1. 学校関係者評価委員会

学校関係者評価委員

菊田 正信 氏 東北管理株式会社 代表取締役（委員長）

三浦 陽平 氏 独立行政法人国立病院機構仙台医療センター 作業療法士

渡部 達也 氏 株式会社訪問介護ステーションわざケア 代表取締役

渡邊 好孝 氏 医療法人松田会 リハビリテーション部部長 人材育成部顧問

## 事務局

清水 逸	校長
大苗 敦	法人事務局 部長補佐
今野 幸信	東北電子専門学校 総務部長、日本コンピュータ学園広報事業部 部長
上遠野純子	東北保健医療専門学校 教務課長
佐藤 美加	東北保健医療専門学校 教務課長
鈴木 香織	東北保健医療専門学校 総務課長代理
吉田 隆幸	法人事務局 次長
足利 沙知	法人事務局 (書記)

## 2. 評価対象期間

自：平成26年4月1日

至：平成27年3月31日

## 3. 実施方法、公表

学校関係者評価の実施にあたっては、学校関係者評価委員の皆様には「学校自己評価」の結果について事務局より説明し、評価結果に対するご意見をいただきました。いただいたご意見は、本報告書として取りまとめ、今後の教育活動や学校運営の改善に活かし、教育水準の向上に努めることとし、ホームページ等に公表致します。

#### 4. 評価基準毎の学校関係者評価

評価項目毎に委員からの評価、意見、提案を報告します。

評価は、4～1の点数で記載します。

評価 4：適切、3：ほぼ適切、2：やや不適切、1：不適切

##### ■基準1 教育理念・目的

評価 4

- ・ 教育理念・育成人材像等については明確に定められ、学科に対応する業界ニーズに則した方向づけを示しており、ホームページ等で広く周知に努めていることがうかがえる。
- ・ 教員の認識を高め、職業実践専門課程の取組を通じて、将来構想についての説明を継続していただきたい。
- ・ 理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などは、学生へ周知していることがうかがえる。オープンキャンパス、体験入学会、入学時オリエンテーションの参加者に説明が行われ、さらに、学校便りを通じて、理念の具体的説明もなされた。今後は、保護者への「学修要項」の配布による更なる周知を期待する。

##### ■基準2 学校運営

評価 3

- ・ 学校運営の組織は整備され、機能しているので、引き続き、担当者と役割の明確化を進めていただきたい。
- ・ 人事、給与に関しては、法律改正に合わせた見直しを適宜実施しており、人事制度については、現状の課題を整理し、どのように整備するか検討していただきたい。
- ・ 教育活動に関する情報として、カリキュラムを入学案内書やホームページで適切に公開している。各科での教育方法、教育評価、成績評価、資格試験などの適時公開も期待したい。

##### ■基準3 教育活動

評価 3

- ・ 教育理念に沿った教育課程が編成されている。
- ・ 修業年限を考慮し、一般的な到達可能レベルとして明確化しているが、さらに各業界の人材ニーズレベルを勘案した知識、技術等の科目内容の検討と各学年の年間を通じた明確な目標設定が必要と感じる。

- ・ 職業実践専門課程の申請をしていない理学療法科・介護福祉科において、教育課程編成委員会を設立し、カリキュラムや教育方法の工夫・開発・作成・見直しをしていただきたい。
- ・ 医療秘書科・医療情報管理科のインターンシップ制度の体系化を検討していただきたい。
- ・ 授業評価の体制は整っており、学生からの教員評価は高いので、今後も継続を望みます。
- ・ 成績評価・単位認定の基準は明確であるが、科目間で評価格差が生じないように努めていただきたい。
- ・ 資格取得に対する指導体制はあるが、カリキュラムへの位置づけを意識したものではないので、国家試験出題基準の変更を踏まえた早急な検討を望みます。
- ・ 平成 26 年度教員研修計画に基づき、教員の資質向上へ結びつく研修を実施しているが、形態や内容の修正が必要である。指導力向上のため研修体制を整備していただきたい。
- ・ 教育到達レベルの確保のため、目標について再検討していただきたい。
- ・ 学生の卒業後の継続性まで見据えた教育活動を望みます。

#### ■基準 4 学修成果

評価 3

- ・ 就職については、「就職支援プログラム」の下、就職指導ができています。今後は学科毎に対応したスケジュールによるきめ細かな支援を期待する。
- ・ 退学率については、「支える教育」体制の実践と学生サポート室が有効に機能した結果、前年度の 11%から 7%へと減少した。今後は、成績不振者に対する早期指導の導入を検討していただきたい。
- ・ 退学率低減のために、学生がどんな仕事にも向き合う力を養っていけるような体制があるとよろしいかと思えます。
- ・ 卒業生の動向については、就職先や本人からの聞き取りなどで把握しているが、同窓会と協力しながら、アンケート調査も実施し、就職活動や教育活動へ活かしていけるような仕組みを検討していただきたい。
- ・ 就職や資格取得という目標達成のために、学生への意識づけをしていく必要があると思えます。

#### ■基準 5 学生支援

評価 4

- ・ 学生の進路・就職については、独自に開発された「就職支援プログラム」の下、担任と就職センターが連携して計画的に指導が行われている。学生には行動計画を立案させ、指導修正する体制を整備していただきたい。

- ・ 学生相談に関しては、「支える教育」体制の実践と学生サポート室が中核に据えられ、適宜、健康相談・健康管理やカウンセリングを実施し、早期に対応できている。
- ・ 課外活動に対する支援として、学業に支障がない範囲で、クラブ活動やボランティアの紹介などが行われている。
- ・ 学生寮をはじめ、校内にはメディアセンター、食堂、売店、就職センター、保健室、相談室、自習室などを備え、適時個別の相談を実施し、快適な学生生活が送れるよう整備されている。
- ・ 早期相談と協力体制の整備をし、保護者とは今後、学生が主体的に学習できるように連携していただきたい。
- ・ 卒業生への支援体制については、卒業研修や情報交換会など積極的に企画していただきたい。
- ・ 社会人のニーズを把握するために、職業実践専門課程の認定申請に取り組む過程で、関係機関からの意見聴取を積極的に実施していただきたい。
- ・ 「平成26年度宮城県福祉・介護人材確保対策事業」として「中学生・高校生対象の福祉・介護体験講座」が行われた。また、新3年生対象に「春のオープンキャンパス」にて、職業理解を深める企画が実施された。高校・高等専修学校等との連帯によるキャリア教育・職業教育の取り組みがなされている。

## ■基準6 教育環境

評価 3

- ・ 施設・設備は整備されているので、今後も状況に応じた対応をしていただきたい。
- ・ 理学療法科、作業療法科、介護福祉科の実習施設および教育体制は適切に整備・運用されており、今後も継続していただきたい。医療秘書科、医療情報管理科については、学外実習の在り方を検討していただきたい。
- ・ メディアセンター、学生食堂の利用、各教室の使用等、自主的に学習するための環境が整備されている。今後は、最新の学術雑誌の整備を期待する。
- ・ 防災・地震に対する訓練が定期的に行われている。防犯についても徹底した巡回・施錠を強化し教職員の意識を高めるよう努めており、安全管理体制は整備できていると感じる。
- ・ 実習施設の整備については、前年度と同様に実施されたようだが、評価を前年度の4から3へ下げる必要はないかと感じます。

## ■基準7 学生の受け入れ募集

評価 4

- ・ 学生募集広報活動は適正に行われており、教育成果も正確に伝えられている。今後も適正な広報活動を行うことを心掛けていただきたい。
- ・ 新たに企画した春のオープンキャンパスでの、高校のキャリア教育に連動した仕事理解を中心とする「お仕事フェスタ」は参加者の満足度も高いようなので、今後も継続していただきたい。
- ・ 学納金は、他校の学費水準も把握した上で決定しているため、適正な金額だと思われます。

#### ■基準 8 財務

評価 4

- ・ 学校の財務状況及び会計監査は適正なものであり、今後は財務基盤の安定のために、少子化の時代を見据え、支出の見直しによる経費削減、メリハリのある予算編成・執行等を継続していただきたい。
- ・ 財務状況はホームページ上で公開されており、情報公開の体制整備ができています。

#### ■基準 9 法令等の遵守

評価 4

- ・ 法令や設置基準の遵守ならびに個人情報の取り扱いについては、適正に周知・遵守が行われており、今後も、より一層対策を強化していただきたい。
- ・ 自己評価については、問題点を明らかにし、対策および改善策を実施するなど適正に行われている。
- ・ 自己評価の結果についても適切に公開されている。

#### ■基準 10 社会貢献・地域貢献

評価 4

- ・ 学校の施設については、研修会や会場貸し出しなどに十分に活用されている。
- ・ 関係団体からボランティアの要請があった際は、学校より積極的に活動参加するよう学生に適宜紹介されている。
- ・ 「平成26年度宮城県福祉・介護人材確保対策事業」として、中学校、高校等を訪問し、福祉・介護の仕事の魅力を伝達し、将来的な福祉・介護の仕事の選択を促す相談・助言・指導等が行われた。中学生・高校生対象に定期的に「福祉・介護体験講座」も開講され、イベントを通して福祉・介護の仕事の大切さと魅力を伝えられたことがう

かがえる。

- ・ 学校の特色として、地域社会に貢献している活動があればよろしいかと思えます。

以上



---

学校法人日本コンピュータ学園      東北保健医療専門学校

〒980-0013 宮城県仙台市青葉区花京院 1 丁目 3 番 1 号

---